

松江市保健衛生課
Tel：0852-28-8285
Fax：0852-28-8118

1. 全数報告感染症（一～五類）【 】は無症状病原体保有者を再掲
日本紅斑熱が 1 件、梅毒が 1 件報告されています。

◆重症熱性血小板減少症候群(SFTS)や日本紅斑熱など、マダニに咬まれることによって引き起こされる疾病が相次いで報告されています。マダニの活動が活発化する春から秋にかけては、野外での活動の際、マダニに咬まれないよう注意が必要です。
感染症情報については、松江市のホームページをご覧ください。

（暮らしのガイド＞健康・福祉＞保健衛生（感染症など）＞感染症情報）

2. 定点報告五類感染症

- ◆インフルエンザの定点当たりの報告数は 4.4 人で、増加傾向です。今後、本格的に流行する時期となりますので、手洗い、咳エチケットなど感染予防策を心がけましょう。また、小児期には脳症を発症したり、高齢者では肺炎を併発するなど重症化することがありますので、特に注意が必要です。
- ◆新型コロナウイルス感染症の定点当たりの報告数は 4.6 人で、先週と比べ増加しました。今後の流行状況に注意するとともに、手洗い、換気、人が集まる場面でのマスク着用などの感染予防対策を心がけてください。また、体調不良時には、早めに医療機関を受診し、新型コロナウイルスの検査等により、適切な診療を受けることが重要です。
- ◆伝染性紅斑の定点当たりの報告数は 3.8 人で、警報レベルの流行が継続しています。小児を中心にみられる発しん性の感染症で、両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。多くの場合、微熱やかぜ症状の軽症で自然に回復しますが、免疫のない女性が妊娠中に感染すると、胎児水腫や流産を引き起こす可能性がありますので、特に注意が必要です。

3. 定点報告五類感染症（月報 9 月分）

- ◆性感染症定点報告：性器クラミジア感染症が 5 件、性器ヘルペスウイルス感染症が 1 件、尖圭コンジローマが 2 件、淋菌感染症が 4 件報告されています。
- ◆基幹定点報告：メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が 4 件報告されています。

＜定点医療機関からの患者報告数(定点当たりの報告数を記載しています。)＞

区 域	松 江 市			島根県（松江市分を含む）		
週	第 39 週	第 40 週	第 41 週	第 39 週	第 40 週	第 41 週
疾病名／期間	9/22～9/28	9/29～10/5	10/6～10/12	9/22～9/28	9/29～10/5	10/6～10/12
インフルエンザ ^a	0.2	2.4	4.4	0.4	1.5	2.5
新型コロナウイルス感染症	3.6	2.6	4.6	6.0	5.6	3.9
急性呼吸器感染症 (ARI)	72.6	69.2	73.8	55.5	59.9	62.5
RS ウイルス感染症	2.3	2.0	2.5	1.7	1.8	3.2
咽頭結膜熱	0	0	0	0.8	0.3	0.5
A 群溶連菌咽頭炎	0.3	1.3	0.8	0.8	0.6	0.8
感染性胃腸炎	3.0	1.8	2.8	5.3	5.5	6.0
水痘	0.3	0	0	0.4	0.1	0
手足口病	0	0	0.3	0.4	0.3	0.5
伝染性紅斑	4.0	3.5	3.8	1.8	2.0	1.6
突発性発しん	0.3	0.5	0	1.0	1.0	0.5
ヘルパンギーナ	0.3	0.3	0	0.3	0.1	0
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0.7	0	0.7
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1.0	1.0	3.0	0.4	0.3	1.3
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎 (ロタ)	0	0	0	0	0	0